

工事名：新名神高速道路 高槻高架橋東（鋼上部工）工事

高槻高架橋東（鋼上部工）工事は、新名神高速道路（高槻第一JCT～八幡京田辺JCT、全長10.7km）の一部で、国道171号から淀川右岸にかけて位置し、鋼橋上部工（上り線・下り線ともにL=385m）の新設を行います。本工事では高さ30m超の橋脚上に鋼桁を架設し、場所打ちPC床版を構築します。本工事における施工上の工夫として、ため池内のP7橋脚上へのアクセスのため、P6橋脚からワイヤーブリッジを設置しました。また、上空には高圧線（50万ボルト、27万5千ボルト）が横断しているため、安全対策として、地上面に高圧線を明示した他、さらにはクレーンブームが高圧線に誤って近づかないよう3Dバリア（警報設備）を導入しています。さらにBIM/CIMを活用し、点群測量結果に3Dモデルを挿入することで高圧線とクレーン位置関係を事前に評価し、仮想空間で模擬訓練を実施しました。

○ため池上の架設作業

550tクローラークレーン（ブーム長 30m×30m）

○現場体験見学会

2025年秋、上牧小学校と五領小学校の1年生を高槻高架橋の現場に招待して現場体験見学会を実施しました。体験は高所作業車での高所体験、測量機器を用いての視準体験、模型ボルトでの締付体験、小型天井クレーンでの荷物の吊り上げ体験、新技術のVR/ARを実施しました。



現場代理人：西 幸二



新名神高速道路のキャラクター

「しんめちゃん」と遊ぶ子供達



床版施工用の吊足場に組換完了

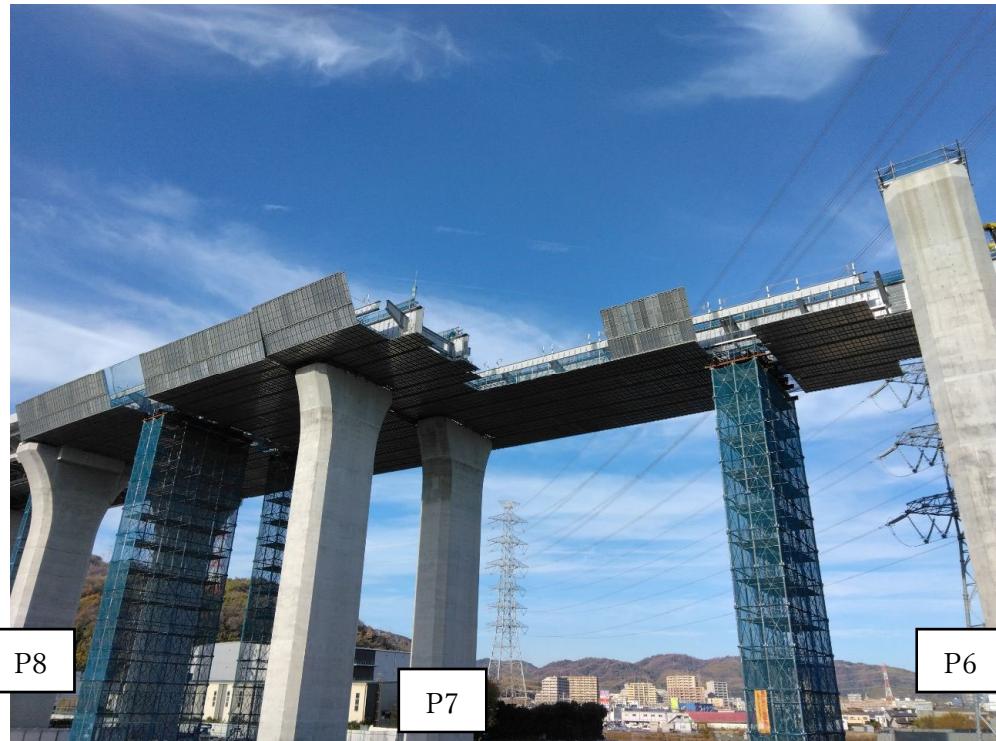
○インターンシップ2025

今年もインターンシップの時期が来ました。

今年は高槻東の現場事務所に12月15日～26日の2週間、現場の職員はいったい何をしているのか？をテーマに各担当に日々密着して学んで頂こうと思います。右写真は4日目「現場代理人はいったい何をしているのか？」のパトロール指摘事項の是正作業後に見た架設中の写真です。“まるで凧のよう！”冬特有の突風により架設部材があおられ思うように作業を進めることができない。

でも、慎重に安全第一で慌てずに架設作業を進める。

今後も高圧線近接作業において安全離隔距離を確保し、「止める・呼ぶ・待つ」を徹底し、受発注者一体の安全管理体制で施工を進めてまいります。



進捗写真（上り線：P8～P6架設完了、下り線：P8～P7架設完了）